

団体名		社会福祉法人 武蔵野市民社会福祉協議会				
①	指標名	YouTubeチャンネルの活用（年間動画掲載本数）			目標値	6本
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	（過去の実績についての説明）	
	（単位：本）	6	4	2	コロナ禍においては、オンラインツールの一つとして活用した。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目			（7）情報公開の更なる推進		
	設定理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・YouTubeチャンネルを開設してはいるが、広報ツールとして効果的なものとはなっていないため、他の媒体（SNSやHP、広報紙）と連動させ、広報媒体の一つとしての活用を図る。 				
②	指標名	会費収入			目標値	2,900千円
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	（過去の実績についての説明）	
	（単位：千円）	3,233	3,129	2,909	平成24年度以降減少が続いている。2年度は前年度と同水準の会費収入を得ることができたが、令和3年度・令和4年度は減額幅が大きくなってし	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目			（4）団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社協や地域福祉活動団体への助成等の自主事業の財源として、市民社協の自主財源からも支出している。地域福祉活動の維持、向上につなげるためにも会員増強、会費収入の確保は不可欠である。 ・「会員＝社協活動や地域福祉活動の理解者」を増やすことで地域福祉活動の担い手や協力者の拡大を目指す。 				
③	指標名	人材育成指針			目標値	人材育成指針の作成
	過去の実績	令和2年度	令和3年度	令和4年度	（過去の実績についての説明）	
	（単位：）	—	作成に向けた情報収集・検討	人材育成指針（案）の作成	令和3年度から、人材育成指針の作成に向けた検討を開始し、令和4年度に指針案をまとめたところである。	
	財政援助出資団体に対する指導監督の基本方針（平成21年2月改正）の具体的な取組の該当項目			（4）団体職員の人材育成と財政基盤の強化		
	設定理由等	<ul style="list-style-type: none"> ・令和3年度に今後の市民社協事業に関する職員ワーキングを設置し検討を行い、その中で職員個々の能力向上を図るため、研修を充実させる必要があるとの意見があった。 ・職員の能力を向上させるためにも、新たに職員研修を含めた人材育成指針を作成する必要がある。 				
内容	取組	<ul style="list-style-type: none"> ・指針の作成にあたっては、他区市町村社協など他団体の育成指針を参考にするとともに、職員の意見も聴取し、求められる職員像、育成の考え方などを中心にまとめていく。 				